

《編集後記》

SPring-8の利用にとって大きな進展となる、「特定放射光施設の共用の促進に関する法律」が成立し、(財)高輝度光科学研究センターが放射光利用研究促進機構の指定を受けました。SPring-8の建設および利用についての制度がまた一步整備されたこととなります。研究面でも、1995年1月には放射光科学合同シンポジウムが開催され、放射光科学がますます盛んになろうとしています。SPring-8利用者懇談会でも利用計画の充実と拡大に向けて、一層の努力が必要です。このために必要な情報の希望や、ご意見を「光彩」にお寄せ下さい。誌上でのホットな議論を期待しています。

辻 和彦

光彩5号をお届けします。当初の目論見に反してまたまた遅れてしまいました。第4号発刊以降大きな行事も無くて掲載記事を企画するのが少々苦しかったというのが本音です。さて、今号の目玉は何といっても建設の決まったBLの抱負とBL検討委員会のヒアリングの様子を伝える記事でしょうか。なかなか自分の出番に見通しが持てないと当初の熱気を帯びた意気込みも段々白けてしまうのではないかと恐れます。各SGには今後粘り強い対応が求められます。編集幹事が光彩の記事集めでそうしているように。

難波孝夫

「光彩」 No. 5

1994年11月発行

発行 SPring-8利用者懇談会

〒650 神戸市中央区港島中町6-9-1

国際交流会館(財)高輝度光科学研究センター内

TEL 078-302-9595 FAX 078-302-1762

印刷 アイテムジャパン

〒658 神戸市東灘区深江本町3-1-6

TEL 078-413-5400 FAX 078-413-5335